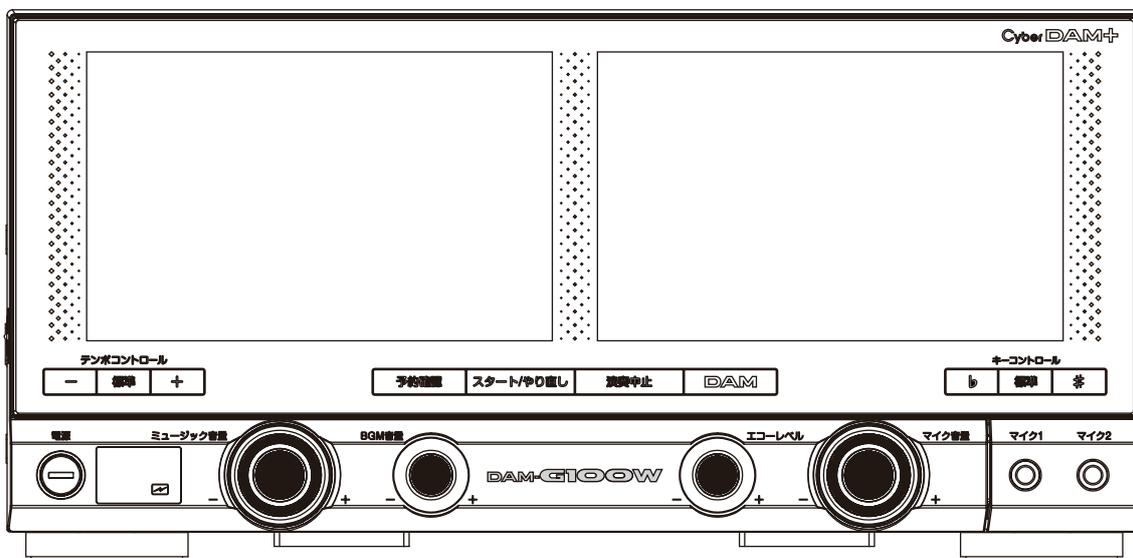


Cyber DAM+

DAM-G100W

サイバーダム プラス



取扱説明書 **ご使用の前に必ずお読みください。**

このたびは、第一興商のDAM-G100Wをお買い求めいただきまして、ありがとうございます。本機の優れた性能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の**前に必ずお読みください。**

お読みになったあとは、必要に応じていつでも取り出せるところに、保証書とともに大切に保管してください。

この製品は必ず交流100V(50/60Hz)で使用してください。交流100V(50/60Hz)以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因になります。

目次

安全上のご注意	2	音量設定のしかた	19
電波に関するご注意	7	画面操作のしかた	20
ご使用の前に	8	故障かな?と思ったら	22
各部の名称と機能	11	仕様	23
ダストフィルターの取り付け/お手入れ	16	サービスについて	25
接続のしかた/周辺機器の取り付け	17		
接続のしかた/ネットワークへの接続	18		

安全上のご注意 (必ずお守りください)

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

絵表示について

この取扱説明書及び製品辺表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。絵表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「障害を負う可能性、または物的損傷のみの発生が想定される」内容です。

絵表示の例

 感電注意	△記号は注意(警告を含む)を促す内容である事を告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
 分解禁止	○記号は禁止の行為である事を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
 電源プラグをコンセントから抜く	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

設置されるとき

警告

-  **禁止** 表記された電源電圧交流100V (50/60Hz) 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
-  **禁止** 本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。
-  **禁止** 電源コードの接続は必ず本機付属の電源コードを使用してください。また、本機付属の電源コードは、他の製品に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

本機は一般小規模オフィス向けの製品であり、人の生命や高額財産などを扱うような、高度な信頼性を要求される分野に適応するようには設計されていません。誤って本機を使用した結果、発生したあらゆる損失について、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

-  **禁止** ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして事故の原因となることがあります。



設置場所は、重量に耐えられるしっかりした場所を選び、特に棚の上など高い場所への設置には落下の危険性がありますので、ご注意ください。



水場での使用禁止

水場には設置しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがありますので、次の点にご注意ください。

- ※本機を押し入れ、本箱などの風通しの悪い狭いところに設置しないでください。
- ※テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団などの上に置かないでください。



禁止

本機のACアウトレットについて火災の原因となることがありますので、次の点にご注意ください。

スイッチ連動

本機の電源スイッチと連動して、接続した機器のオン/オフができます。

スイッチ非連動

本機のフロントパネルの電源スイッチに関係なく電源を供給します。

- ※これらのACアウトレットに接続する機器の消費電力は各100W以下で使用してください。
- ※これらのACアウトレットには、カラオケ機器以外は接続しないでください。



禁止

本機のACアウトレットに電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは絶対に接続しないでください。



禁止

電源コードの上に物品をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。
コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。



強制

本機を設置する場合には、天面や側面の放熱をよくするために、隣接の機器とは少し離して置いてください。
ラックなどに入れるときは、本機从天面から5cm以上、壁面から10cm以上のすきまを開けてください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。



強制

設置時の注意

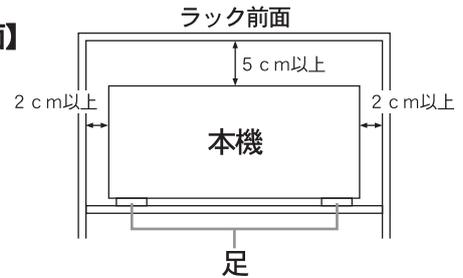
ラックに収納する場合は、通気性確保のため、前面および背面ともに開放のラックを使用して下さいのように設置してください。

本機の上と左右側面に必ず十分なスペースをとって設置してください。

本機の足は、通気性確保、および**安全性のために重要な部品**ですので、絶対に外さないでください。

理想的な設置例

【前面】

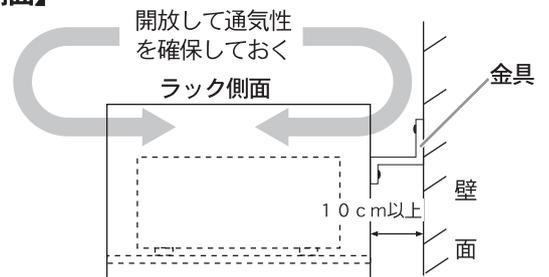


ラックは壁から10cm以上離して設置してください。

暖房機器からの熱風が直接当たる場所は避けて設置してください。火災、故障の原因となります。

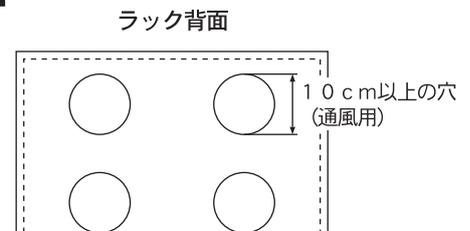
ラックは転倒しないようにしっかりと、下図のように金具等で壁に固定してください。

【側面】



やむを得ず、背面が閉鎖されているラックに収納する場合は、ラックの背面に通風用として直径10cm以上の穴を4ヶ所以上開けてください。

【背面】



⚠ 注意

禁止 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に設置しないでください。外装や部品に悪い影響を与え、火災・故障の原因となることがあります。

禁止 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止 調理室や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止 本機の上に物品をのせないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して事故の原因となることがあります。

注意 他の機器と接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源プラグをコンセントから抜いて接続してください。また接続には指定のコードを使用してください。火災・感電の原因となることがあります。

注意 電源プラグのコンセントへの接続は、必ず最終設置場所への移動とすべての結線が完了してから行ってください。

注意 本機はハードディスクを内蔵する精密機器です。衝撃や振動を与えないでください。故障の原因となります。

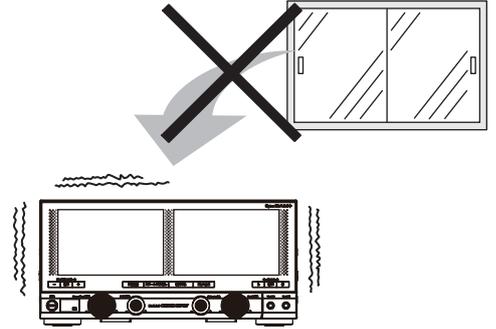
注意 電源プラグをコンセントへ一旦差し込むと、ハードディスクが作動しはじめます。この状態で本機を移動することは絶対にしないでください。ハードディスクの故障の原因となります。

注意 本機の移動は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

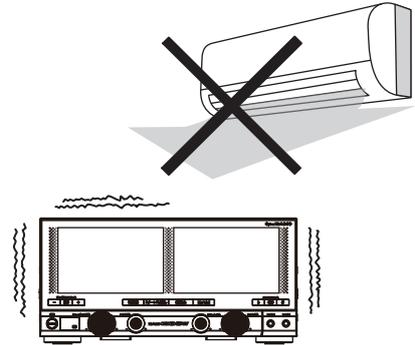
注意 電波妨害について
DAMIは、電安法での技術基準で定める省令(雑音電力および不要輻射)に適合しております。しかし電波を扱う機器と一緒に使用すると電波妨害を起こすことがあります。この場合は障害が発生しないように、できるだけ離して機器を設置してください。

注意 電源プラグが奥まで挿入されていること、および、抜け止め金具がしっかり下にかかっていることを確認してください。

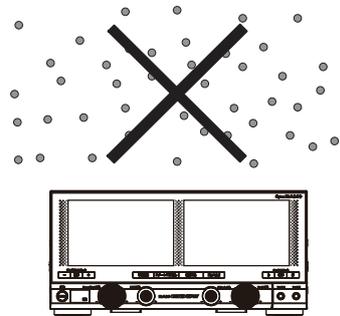
注意 寒冷地では、本機に直接外気が当たらない室内に設置してください。火災・故障の原因となることがあります。



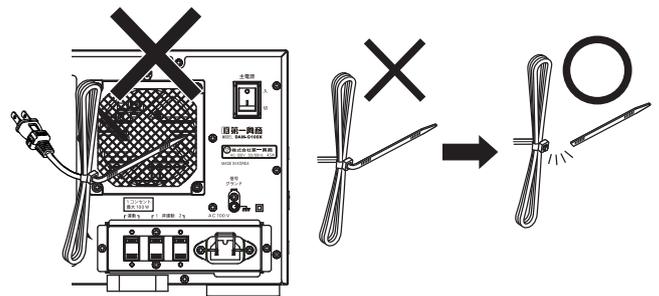
注意 冷暖房時に風が本機に直接当たらない場所に設置してください。火災・故障の原因となることがあります。



注意 本機は精密機械ですので、ホコリやチリの多い場所はさけてください。火災・故障の原因となることがあります。



注意 背面でケーブルを結束する際、結束バンドの先端をファンカバー内に侵入しないようにご注意ください。ファンを拘束して、本体の故障の原因となることがあります。



ご使用になるとき

警告

 本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

 本機の近くに水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

 本機の通風孔から、内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱しないでください。
コードが破損して、火災・感電の原因となります。

 本機の外装は絶対に開けないでください。
内部の点検・整備・修理は取扱店にご依頼ください。弊社の指定したサービスマン以外によって外装が開けられた場合は、その後の性能および品質については、弊社は一切責任を負いません。

 本機を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

 電源コードが痛んだら(芯線の露出、断線など)取扱店に交換を、ご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

 万一、煙が出ている、異臭や異音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の電源スイッチを切り、(素手ではなく、必ず厚手の手袋か乾いた布を使用して)必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認してから、取扱店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

 注意

 電源プラグをコンセントから抜く

万一、本機の内部に水または金属類や燃えやすいものが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、取扱店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

 電源プラグをコンセントから抜く

音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて取扱店にご連絡ください。

注意

 禁止

本機の上に重いものや大きなものをのせないでください。
倒れたり、落下して、事故の原因となることがあります。

 禁止

本機の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
特に、お子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして事故の原因となることがあります。

 禁止

電源コードを熱器具に近付けないでください。
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

 禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

 禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

 注意

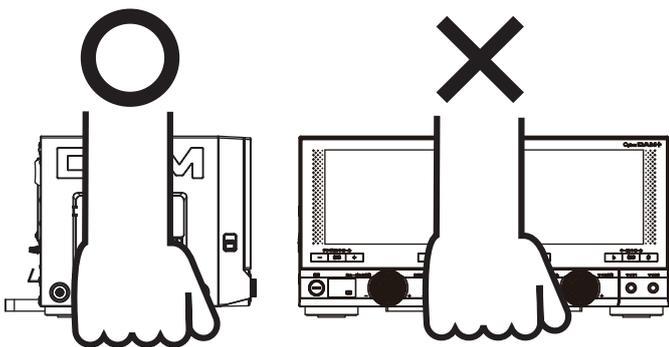
電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にしてください。
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



注意

本機を持ち上げる時は、必ず左右サイドをお持ち下さい。フロント、リアでは持たないで下さい。

本機が落下し、事故の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く

万一本機を落としたり、損傷した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く

移動させる場合は、本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

長期間、本機をご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。また、再びご使用を始める際には取扱店にご相談ください。

お手入れについて



注意



注意

1年に1度は内部の掃除を取扱店にご相談ください。

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除しないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。



注意

外装をベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くで殺虫剤を散布することは避けてください。

表面を傷める原因となります。お手入れは必ず柔らかい布でからぶきしてください。



電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切り、安全の為電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

感電の原因となることがあります。



音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。

静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

電波に関するご注意

電波に関するご注意

本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。ご使用になる上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下の点にご注意してください。

- 医療機器の近くで、本機をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 電子レンジの近くで、本機をご使用にならないでください。電子レンジによって、本機の無線通信への電磁妨害が発生します。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- 1.本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
- 3.その他、本機から移動体通信識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例発生した場合など何かお困りの事が起きたときは、D A Mヘルプデスクまでお問合せください。

2.4FH1

- ・2.4:2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。
- ・FH:FHSS方式を表します。(周波数ホッピング方式)
- ・1:想定される与干渉距離が10m以下を表します。(出力Class1の最大値)
- ・周波数変更の可否:全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能であることを表します。



おことわり

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報処理装置です。本機は、一般小規模オフィスで使用されることを目的としていますが、この商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お問い合わせ先

株式会社第一興商 D A Mヘルプデスク (03)3280-6400

Bluetooth®

「Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、第一興商はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。」

- ・Bluetooth®機能を利用する場合のご注意
本端末は、Bluetooth®機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth®機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- ・Bluetooth®機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご使用前に

ご注意

本機は通信カラオケ機器です。下記のことに注意してください。

重要

AC電源が常時供給されているコンセントに接続してください。また、ブレーカーは絶対に切らないでください。

- ・ご使用中に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- ・通信回線が常時つながっている状態にしてください。楽曲配信が受けられなくなり使用できなくなります。

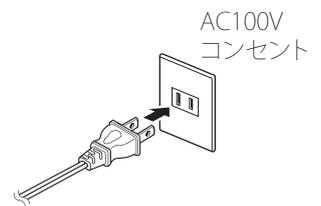
電源の入れかた／切りかた

電源コードの接続

背面主電源スイッチOFFの状態、本機背面にある電源コードの電源プラグを、壁面などにあるAC100Vのコンセントに差し込み、背面主電源スイッチをONにします。

しばらくしてすべてのインジケータが一旦点灯します。

その後、電源スイッチのインジケータ（赤色:スタンバイ状態）を残し消灯します。



電源は必ずAC100Vコンセントから、直接専用にとってください。

注意

延長コードを使ったり、タコ足配線をするとう感電事故や火災の原因になります。

重要

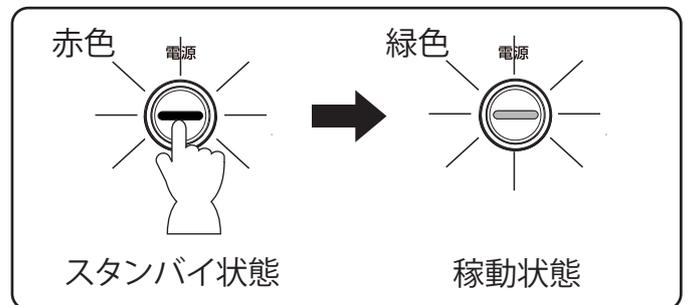
電源のインジケータが赤色に点灯している状態をスタンバイ状態といいます。電源プラグをコンセントから抜く場合は、通信インジケータ(P12 )が点滅していない時に抜いてください。

電源の入れかた

本機及び接続機器の電源を入れてください。

電源スイッチを押すと、しばらくしてインジケータがスタンバイ状態の赤色から、稼働状態の緑色へと変わります。

その後、サブモニターにスタート画面が表示されるまでの間、操作はできません。



重要

本機の連動コンセント以外から取っている周辺機器の電源を先に入れてください。

電源の切りかた

電源スイッチのインジケータが赤に変わるまで、電源スイッチを2～3秒間押してください。しばらくして電源スイッチ以外のインジケータすべてが消灯し、スタンバイ状態になります。

(スタンバイ状態ではないときに、背面主電源スイッチをOFFにしたり、電源コードを抜いたりしないでください。)

重要

通信インジケータ(P12 )が点滅中は、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。

誤って電源コードを抜いてしまった時は

1.もう一度電源コードを差し込みます。

2.電源スイッチを押します。(その後は、通常の電源スイッチの動作と同じです。)

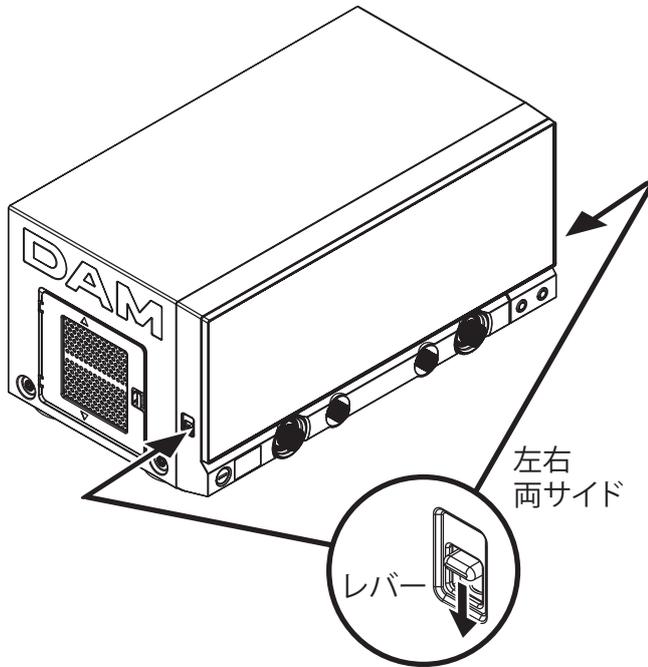
※電源コードが抜けた状態、電源ブレーカーが切れた状態、背面主電源スイッチがOFFの状態ではセンターからの受信はできません。

ご使用前に

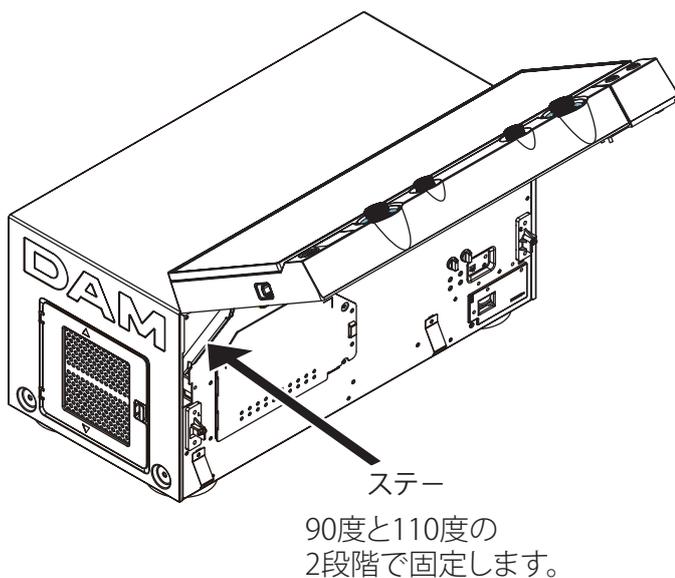
フロントパネルの開閉

フロントパネルを開くとき

1. フロントパネル両サイドのレバーを下げて、パネル下部を手前に引いてください。

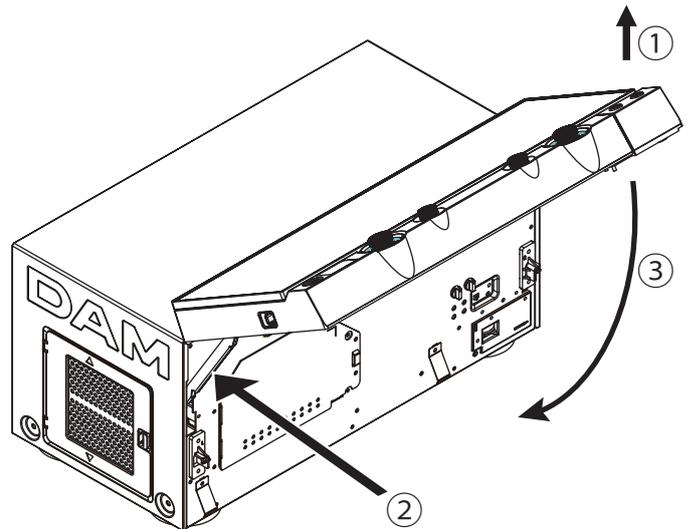


2. 本体左側よりステーが出て、フロントパネルをささえます。



フロントパネルを閉じるとき

1. フロントパネル①を少し持ち上げます。
2. ステー②を持ち上げて外してください。



3. ステー②を外したら、フロントパネルをゆっくりと下げ③、両サイドのレバーが『カチッ』と音を立てるまで押し付けてください。

⚠ 注意

フロントパネルを閉じるときは、指を挟まないよう充分注意してください。

ご使用の前に

特長

1.抗ウイルス・抗菌コーティング

コーティング剤は株式会社ハドラス開発の

【Dr.ハドラスコーティング剤】を使用。

【Dr.ハドラスコーティング剤】は高純度のガラス被膜を

作り抗ウイルス・抗菌の効果が約5年間持続、

抗ウイルス・抗菌及び、安全を認証する【SIAAマーク】を取得済み。

※抗菌処理は、前面タッチパネル及び操作スイッチ、つまみ部分に施されています。

※持続効果は使用環境により異なります。

【Dr.ハドラスコーティング剤】の詳細情報については、株式会社ハドラスHP

「<https://www.hardolass.com/>」をご覧ください。



2.業界初 ダブルモニターを搭載

8インチのダブルモニターにより、操作がさらに簡単・便利に。左のモニターでは楽曲演奏時のカラオケ映像と歌詞表示、右のモニターではデンモク機能と楽曲予約操作など、多彩な役割を担います。

3.ボリュームコントロール

「ミュージック音量」「BGM音量」「エコーレベル」「マイク音量」を数値で表示。音量が数字で確認できるので便利です。

4.こだわりのサウンドエフェクト

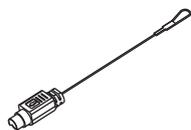
「ライブエコー」モードをONにすると、まるでステージで歌っているかのようなリアルな残響音が歌唱を彩ります。また、マスク越しでも鮮明に歌声が響く「マスクでうたう」モードの使用により、マスクを装着したままでも気持ち良く歌えます。

5.ナイト市場に特化した楽曲ラインアップ

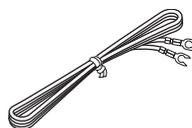
演歌・歌謡、外国語曲、デュエット曲など、ナイト市場で歌われることの多い楽曲を中心に取りそろえました。また、ガイドボーカル対応曲や本人映像曲もナイトシーン向けに対応しています。

付属品

本機の付属品として、下記のものがあります。



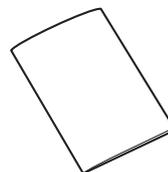
コインボックス用
ショートプラグ



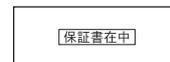
アース線



結束バンド



取扱説明書



保証書



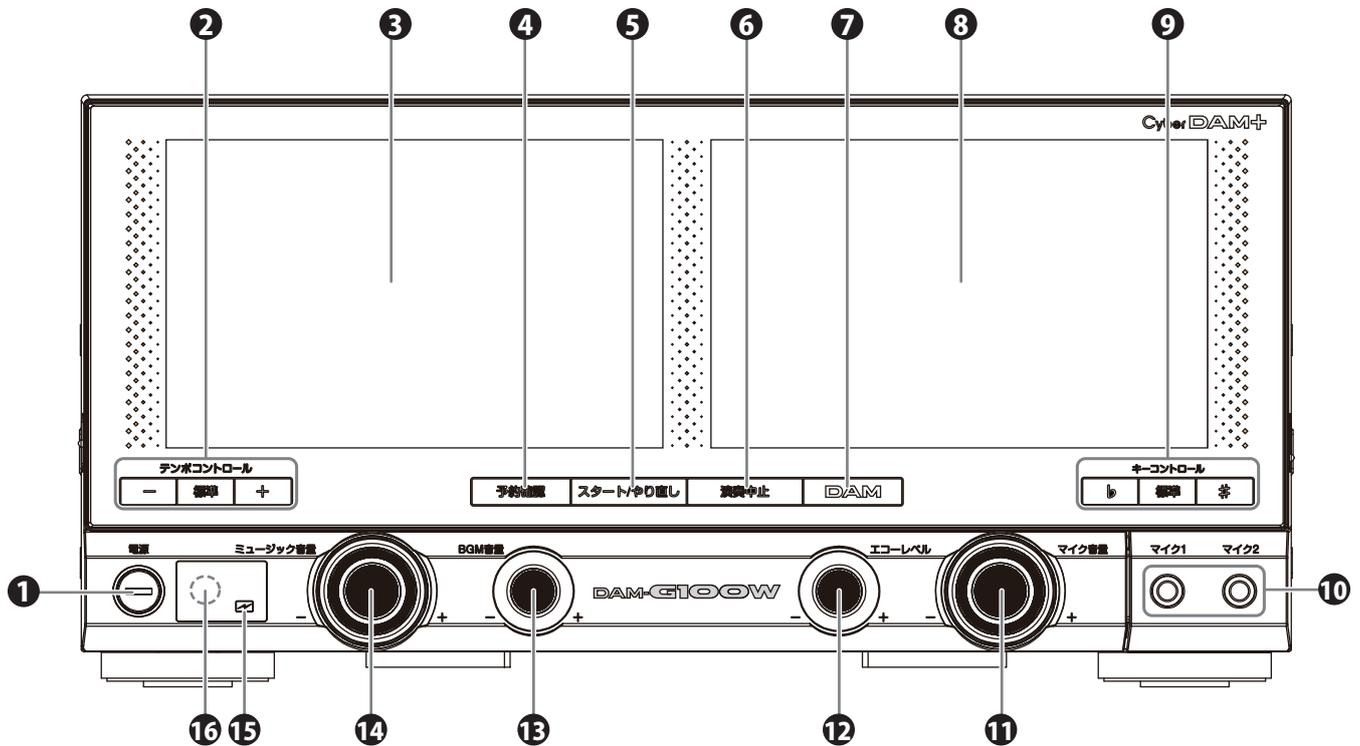
保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、取扱店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に取扱店名、購入日などの記載がありませんと、保証期間中でも有料修理となりますので十分ご注意ください。

※リモコンを使用する場合は、TM30、TM20、TM10、CM3000、PM800zB、PM700zB、PM600zB、PM500zB、デンモクminiをご使用ください。
PM100、PM100 II、PM100 III、PM200、PM200zB、PM300zB、CM1000、CM2000はご利用できません。
(2021年4月現在)

各部の名称と機能

フロントパネル



- 1 電源スイッチ(本体)**
本機の電源スイッチです。
ボタンを押すと電源が入り、インジケータが緑色に点灯します。
電源を切るときは、ボタンを2~3秒押し続けます。
インジケータが赤色に変わり、スタンバイ状態となります。
詳しくは8ページ「電源の入れかた/切りかた」参照。
- 2 テンポコントロールボタン**
演奏中の曲のテンポ調整を行います。
演奏中の曲が終了すると標準に戻ります。
- 3 映像パネル**
メインモニタに表示される映像と同じ画面が表示されます。
- 4 予約確認ボタン**
予約されている曲名を確認したいときに使用します。
- 5 スタート/やり直しボタン**
単曲モードのとき、演奏をスタートさせたり、演奏が開始より30秒以内であれば、インジケータが点滅し、この間は3回まで演奏をやり直すことができます。
単曲モードの時は、演奏が終わるごとに、このボタンを押して演奏をスタートさせてください。
- 6 演奏中止ボタン**
演奏を中止します。
演奏を開始してから30秒以内は、課金及び登録はされません。
- 7 DAMボタン**
各種設定、コンテンツの操作等で使用します。
- 8 操作パネル**
タッチパネルになっていて、各種設定、情報を表示、操作します。
- 9 キーコントロールボタン**
演奏中の曲のキー調整を行います。
演奏中の曲が終了すると標準に戻ります。
- 10 マイク入力端子1,2**
マイクを接続します。
フロントマイク入力とリアマイク入力は同時に使用できます。
- 11 マイク音量**
マイク音量を調整します。
- 12 エコーレベル**
マイク信号にかかるエコー量を調整します。

各部の名称と機能

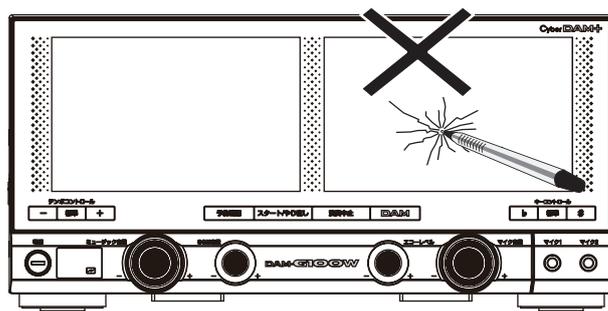
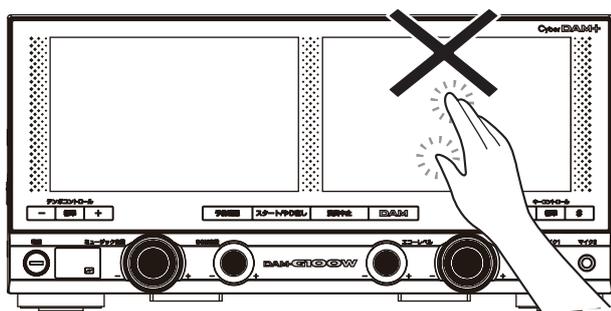
- ⑬ BGM音量
曲間BGMの音量を調整します。
- ⑭ ミュージック音量
カラオケミュージック音量を調整します。
- ⑮ 通信インジケータ
通信状態を表示します。
点灯中は、ルーターを認識済み。
点滅時は、本機の通信中。
- ⑯ リモコン受光部
リモコンからの赤外線信号を受けます。

操作パネルの操作

操作パネルに表示されるボタンアイコンをタッチします。

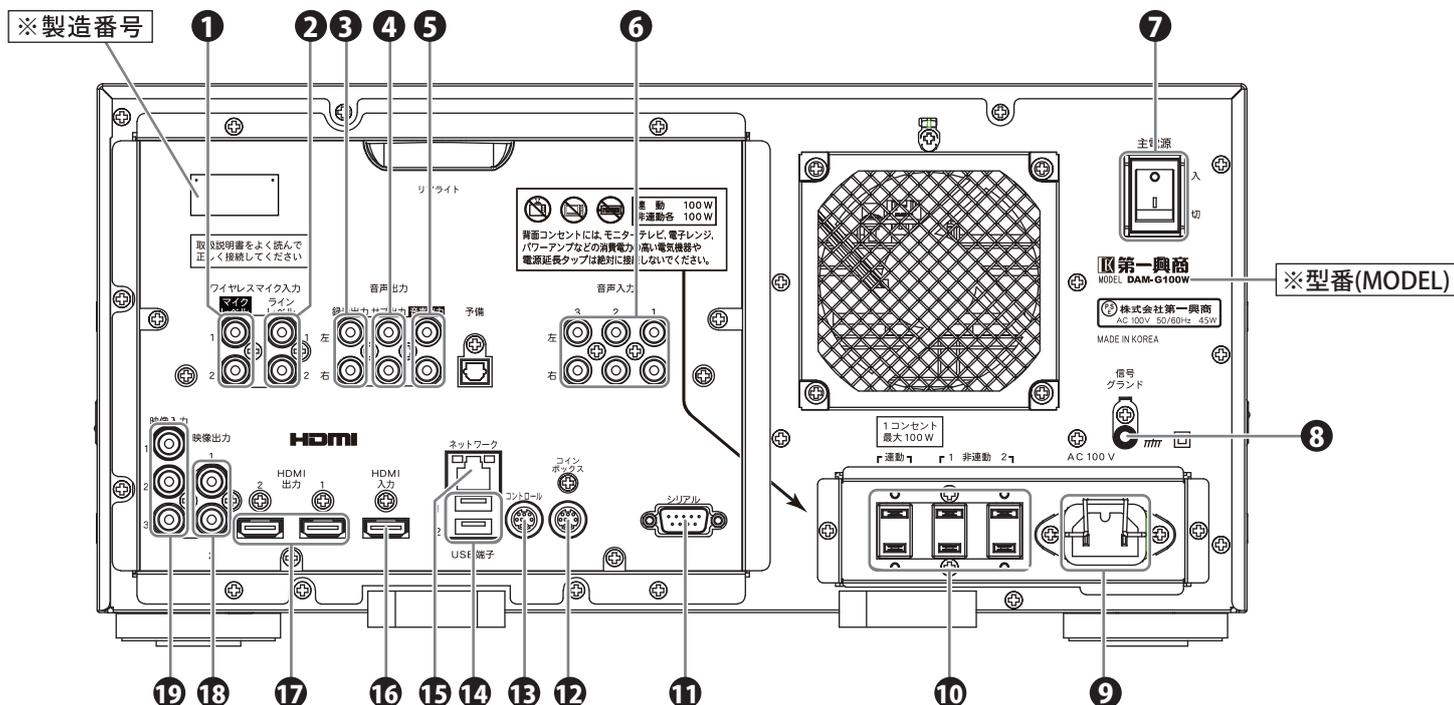
重要

- 操作パネルを**同時に2箇所以上**押した場合、本機は正しく動作しません。
- 操作パネルは、指で操作してください。ボールペンなどの先の硬いものは絶対に使用しないでください。操作パネルが破損して、けがの原因となります。
- 操作パネルは適度な力で操作してください。
- 映像パネルはタッチしても反応しません。



各部の名称と機能

リアパネル



1 ワイヤレスマイク入力端子(マイクレベル) 1,2

マイク/ワイヤレスマイク受信機を接続する端子です。ワイヤレスマイクを接続するときは、ワイヤレスマイク受信機側の出力切替設定を『マイク』にしてください。フロントマイク入力とリアマイク入力は同時に使用できます。

2 ワイヤレスマイク入力端子(ラインレベル) 1,2

ワイヤレスマイク受信機を接続する端子です。2セット目のワイヤレスマイクを接続する場合はこちらに接続してください。その際、ワイヤレス受信機側の出力切替設定を『ライン』にしてください。
※ご使用の際には保護キャップを取り外してお使い下さい。

3 録音出力端子

録音装置の入力端子に接続する端子です。録音装置の出力端子を本機に接続する場合は、音声入力3を使ってください。

4 サブ出力端子

サービスマンモードにて、以下の出力に設定することができます。

1. 音声出力と同じ信号(工場出荷時設定)
2. ミュージック信号のみ
3. カラオケ信号
4. マイク信号のみ(エコー付き)
5. マイク信号のみ(エコー無し)

※出荷時は1に設定されています。

5 音声出力端子

パワーアンプの入力端子に接続する端子です。

6 音声入力端子1、2、3

BGMとして曲間で流す音声信号を接続する端子です。録音装置の出力端子を本機に接続する場合は、音声入力3を使ってください。優先順位は入力1→入力2→入力3の順です。

7 主電源スイッチ

本機の主電源をON/OFFします。

各部の名称と機能

⑧ 信号グランド端子
付属のアース線を使って、アースに接続してください。

⑨ ACインレット
付属の電源コードを使って、コンセントに接続してください。

⚠ 警告

電源コードの接続は必ず本機付属の電源コードを使用してください。また、本機付属の電源コードは、他の製品に使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

⑩ ACアウトレット
(電源スイッチと連動1口、非連動2口)
本機に接続する各機器の電源プラグを差し込みます。各アウトレットに接続する機器の消費電力が100Wを超えないようにしてください。

⚠ 警告

電子レンジ、パワーアンプなどの消費電力の高い電気機器や、電源延長タップなどを、絶対に接続しないでください。

⑪ シリアル端子
使用しません。

⑫ コインボックス端子
コインボックス(BB-12、BB-13、BB-5000)または付属のショートプラグを接続する端子です。

⑬ コントロール端子
デンモク専用チャージャー(PMC20、PMC25、PMC30、PMC33、PMC35)を接続する端子です。

⑭ USB端子1、2
拡張用の機器を接続する端子です。

⑮ ネットワーク端子
LAN接続用の端子です。

⑯ HDMI入力端子
BGV/BGMとして曲間で流すHDMI信号を接続する端子です。

※HDMI映像信号は、HDMI出力端子のみ出力されます。

※HDMI入力音声は、HDMI入力映像選択時に音声出力端子より出力されます。

⚠ 注意

HDMI入力端子と外部機器を接続するケーブルは、3m以下のものをご使用下さい。

⑰ HDMI出力端子1、2
モニターテレビ等のHDMI端子に接続する端子です。

⑱ 映像出力端子1、2
モニターテレビ等の映像入力に接続する端子です。

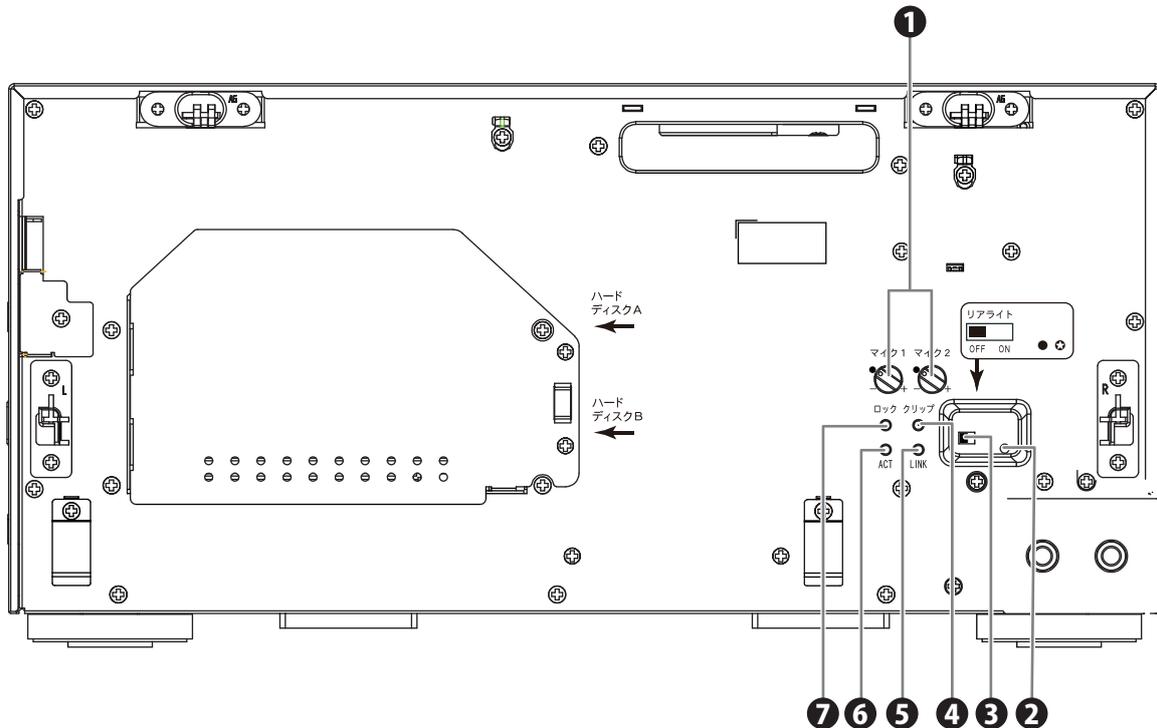
⑲ 映像入力端子1、2、3
BGVとして曲間で流す映像信号を接続する端子です。優先順位は入力1→入力2→入力3の順です。

HDMI

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing.LLCの商標または登録商標です。

各部の名称と機能

シーリングパネル



① マイク入カつまミ1,2

マイク1、マイク2の入力レベルを個々に調整します。
※詳しくは19ページ「マイク入力の感度を調節するには」参照。

② ★リセットスイッチ

本機が操作できなくなったときに、先の細いもので押します。
電源プラグをコンセントに差し込んだ時と同様の動作をします。

③ リアライトスイッチ

本機背面を照らすリアライトの入切を行います。

④ シグナルクリップインジケータ

マイクからの信号が大きいとき(歪み始める前)に赤色の点灯で表示します。
※詳しくは19ページ「マイク入力の感度を調節するには」参照。

⑤ LINKインジケータ

LAN通信を行っているときにLED(赤)が点滅します。

⑥ ACTインジケータ

ネットワークが確立しているときにLED(緑)が点灯します。

⑦ シグナルロックインジケータ

マイクから適正レベルの信号が入力されたことを緑色の点灯で表示します。
シグナルクリップインジケータ(④)が点灯するとシグナルロックの表示は消灯します。

ダストフィルターの取り付け/お手入れ

⚠ 注意

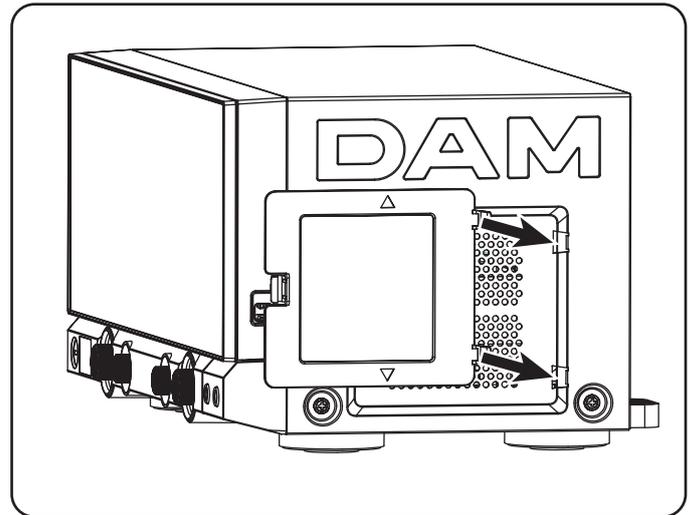
ダストフィルターの取り付けやお手入れの際は、電源スイッチをスタンバイ状態にして行ってください。

ダストフィルターの取り付け

1. 本体側の取り付け穴と、ダストフィルターの突起部が合うように取り付けてください。

⚠ 注意

換気口をふさいだまま使用しないでください。
故障の原因となることがあります。

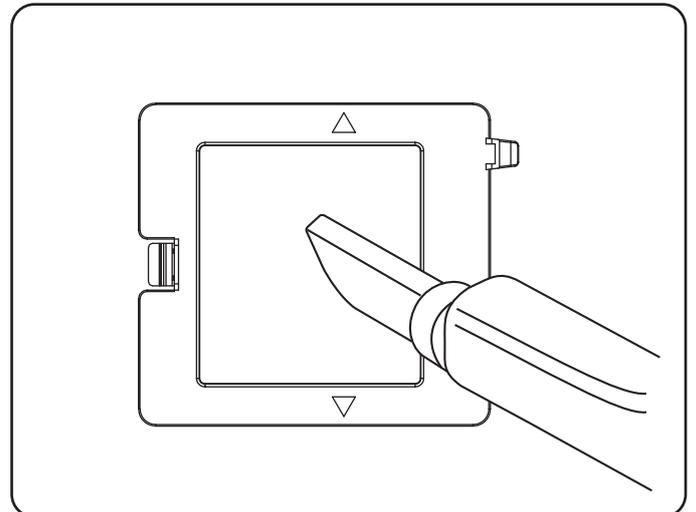


ダストフィルターのお手入れ (2ヶ月に1回程度)

1. ダストフィルターを取り外してください。
2. 掃除機などで汚れを吸い取ってください。

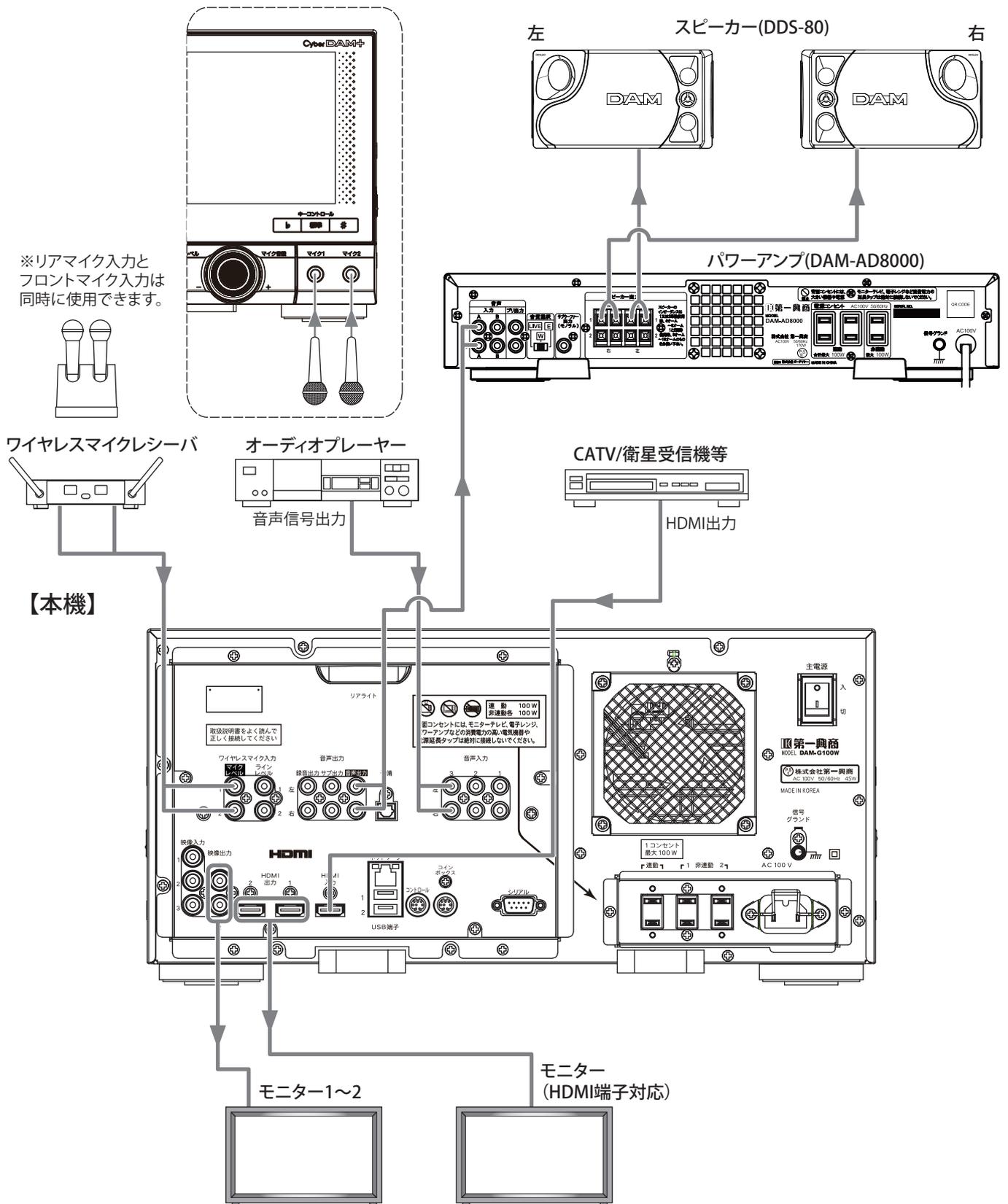
⚠ 注意

汚れがひどいときは、台所用中性洗剤で水洗いをし、
日陰でよく乾かしてください。
水気があると感電の原因となります。



接続のしかた/周辺機器の取り付け

周辺機器の配線図

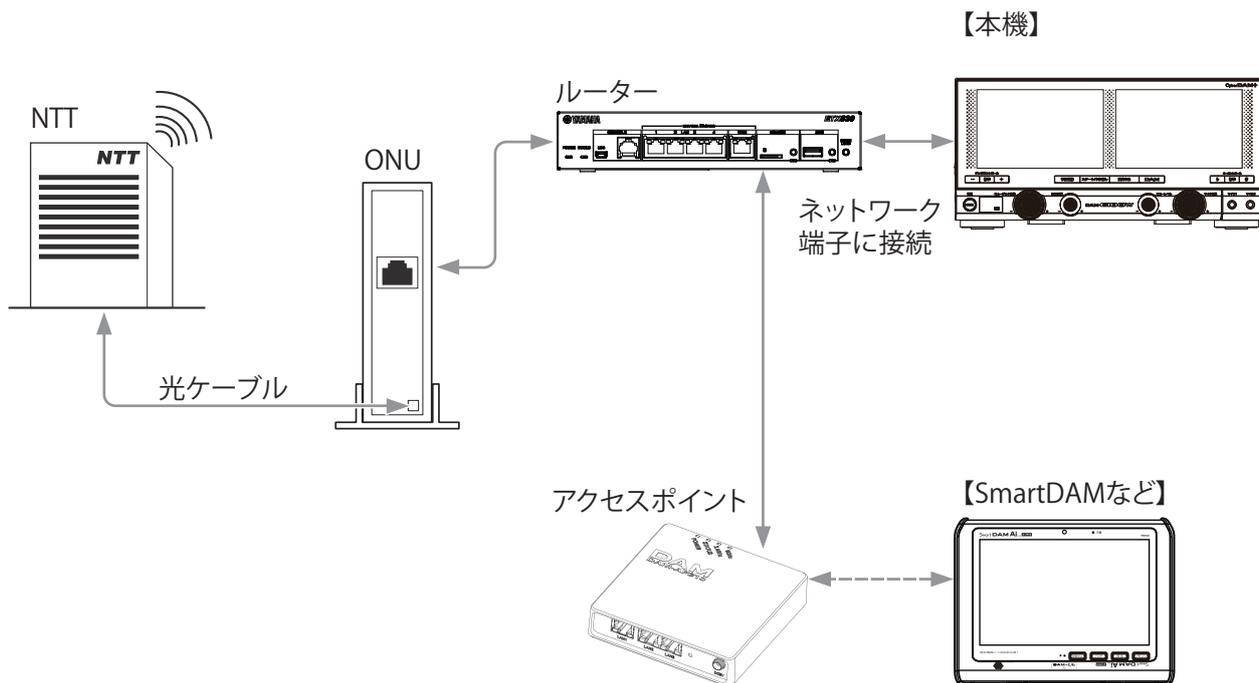


メモ

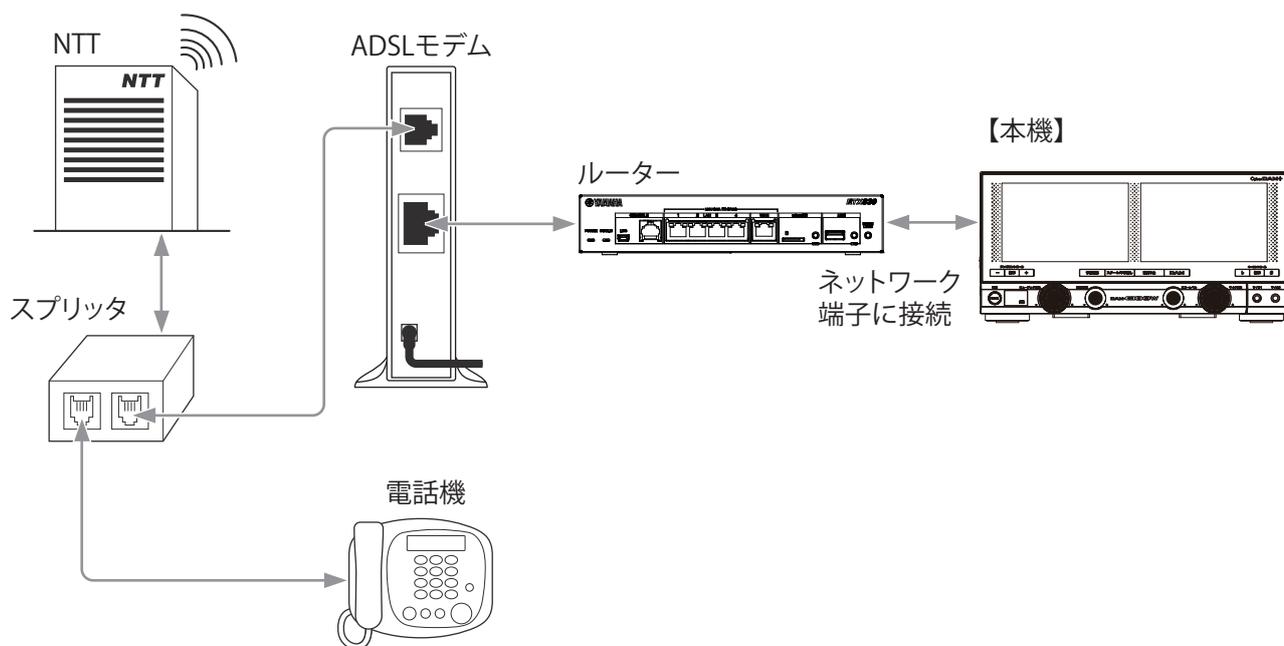
- ・パワーアンプ(DAM-AD8000)の「マスター音量」調整つまみは12時の位置に設定して下さい。
- ※部屋の状況などで大きな音量を出せない場合は、絞り気味に設定して下さい。

接続のしかた/ネットワークへの接続

1.BB回線(光回線)で接続する場合



2.BB回線(ADSL回線)で接続する場合



メモ

- DAMとの接続はLANケーブルを使用し、DAM機器のネットワーク端子(またはLAN端子)に接続してください。
- LANケーブルの接続は最終設置場所に設置後、電源を切った状態で行ってください。

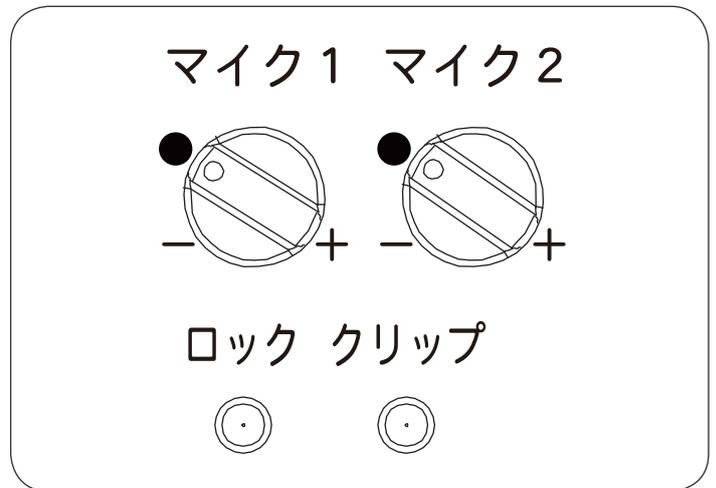
音量設定のしかた

マイク入力之感度を調整するには

1. 通常の音量で歌ったときに、シグナルクリップインジケータ(赤)が時々点滅するようにします。

シグナルクリップインジケータ(赤)が全く点滅しない場合や、点灯し続ける場合は、マイクレシーバー側のボリュームを調整してください。

シーリングパネル内のマイク入力がツマミは、通常は出荷時の標準値(指標のある10時の位置)で使用してください。



音量調整をするには

1. 演奏中の曲の音量を調整するには、ミュージック音量ツマミを回します。

右に回すと音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。

2. 外部音声、曲間BGMの音量を調整するには、BGM音量ツマミを回します。

右に回すと音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。

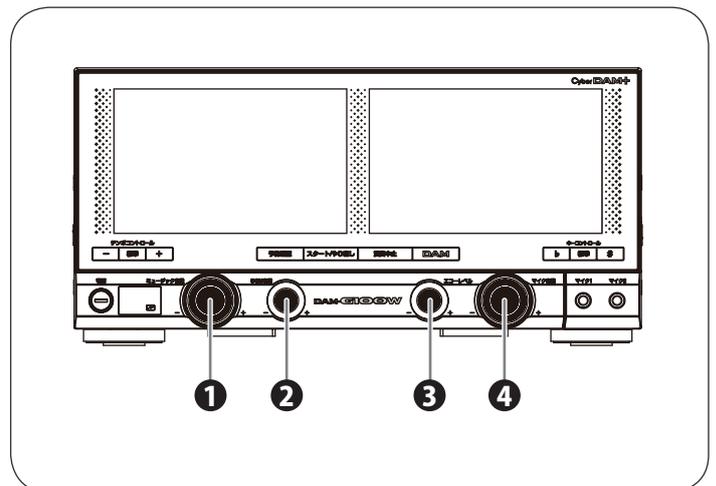
※ミュージック音量ツマミの位置も、BGM音量に影響します。

3. マイクのエコーレベルを調整するには、エコーレベルツマミを回します。

右に回すとエコーの量が増加し、左に回すとエコーの量が減少します。

4. マイクの音量を調整するには、マイク音量ツマミを回します。

右に回すと音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。



画面操作のしかた

操作パネル/トップメニューの各名称と機能



※画面の内容は、改善改良のため、予告なく変更することがあります。

- ① テンポコントロール表示**
テンポコントロールの値を表示します。
- ② キーコントロール表示**
キーコントロールの値を表示します。
- ③ 歌手名検索ボタン**
歌手名を入力して検索します。
- ④ 曲名検索ボタン**
曲名を入力して検索します。
- ⑤ 選曲番号ボタン**
選曲番号を入力して検索します。
- ⑥ 予約リストボタン**
予約曲の確認、曲順変更、取消しを行います。
- ⑦ 映像・ゲームボタン**
利用できる映像・ゲームコンテンツを表示します。
- ⑧ 採点ボタン**
利用できる採点ゲームを表示します。
- ⑨ 楽曲操作ボタン**
楽曲操作画面を表示し、さまざまな楽曲操作を行うことができます。
- ⑩ CD再生ボタン**
CDを再生します。
※専用CDドライブを接続しないと使用できません。
- ⑪ りれきボタン**
演奏りれき画面が表示され、過去に演奏された楽曲から予約ができます。

画面操作のしかた

- ⑫ **設定ボタン**
音質や曲間など、さまざまな設定項目を表示します。
- ⑬ **デンモクmini二次元コード表示**
本機にスマートフォンをつないで[デンモクmini]を利用するための二次元コードを表示します。
- ⑭ **ミュージック音量表示**
ミュージック音量値を表示します。
- ⑮ **BGM音量表示**
BGM音量値を表示します。
- ⑯ **エコーレベル表示**
エコーレベル値を表示します。
- ⑰ **マイク音量表示**
マイク音量値を表示します。
- ⑱ **採点ボタン**
採点機能のオン/オフを行います。
- ⑲ **ライブエコーボタン**
マイクサウンドに、ライブ会場のような響きを加えます。

故障かな?と思ったら

本機を使用中に『故障かな?』と思ったら、下記の事項をチェックしてください。その上で正常に作動しない場合、また下記以外の異常が認められた場合は、取扱店にご連絡ください。

どんな症状ですか?	ここをチェックしてください。	このように対処してください。
電源ボタンを押しても電源が入らない。	電源プラグが抜けている／抜けかけている。 背面主電源スイッチが"切"になっている。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 背面主電源スイッチを"入"にしてください。
モニターに映像が出ない。	モニターの電源が入っていない。 ケーブルが抜けている／抜けかけている。 接続箇所を間違えている。	電源を確認してください。 接続を確認してください。
音が出ない。	ミュージック音量ツマミが絞られている。 ケーブルが抜けている／抜けかけている。 接続箇所を間違えている。	ミュージック音量ツマミで音量を上げてください。(19ページ) 接続を確認してください。
マイクの音が出ない。	外部パワーアンプの電源が入っていない。 または音量ツマミが絞られている。 マイク音量ツマミまたはマイク入力ツマミが絞られている。 マイク本体のスイッチがオフになっている。 マイクプラグが抜けている。	外部パワーアンプの電源と音量ツマミを確認してください。 マイク音量ツマミまたはマイク入力ツマミでレベルを上げてください。(19ページ) スイッチおよび接続を確認してください。
外部入力に接続された機器の音が出ない。 または小さい。	曲間設定や自動切換感度設定が不適切または間違えている。	[9][9][DAM]～曲間BGV/BGM設定、[9][6][DAM]～外部入力調整、サービスマンモード設定確認が必要です。本機取扱店にご相談ください。
曲間BGV、BGM、CMが流れない。	BGM音量ツマミまたはミュージック音量ツマミが絞られている。 曲間設定や自動切換感度設定が不適切または間違えている。	BGM音量ツマミまたはミュージック音量ツマミでレベルを上げてください。(19ページ) [9][9][DAM]～曲間BGV/BGM設定、[9][6][DAM]～外部入力調整、サービスマンモード設定確認が必要です。本機取扱店にご相談ください。
演奏が始まらない。	コインボックスの端子が接続されていない。 単曲モードに設定されていて、[スタート／やり直し]ボタンを押していない。	コインボックスの端子を接続してください。 [スタート／やり直し]ボタンを押してください。
曲間BGMの最中に突然他の入力に切り換ってしまう。または聴いている演奏が終わっても他の入力に切り換わらない。	曲間設定や自動切換感度設定が不適切または間違えている。	[9][9][DAM]～曲間BGV/BGM設定、[9][6][DAM]～外部入力調整、サービスマンモード設定確認が必要です。本機取扱店にご相談ください。
次の予約曲がモニターに表示されない。	サービスマンモードの次曲予約表示設定が「表示しない」になっている。	次曲予約表示設定を「表示する」にしてください。
2番まで演奏したところで曲が終わってしまう。	クイックメニューの演奏フェードアウト設定が「入」になっている。 デンモク側で演奏フェードアウトを行っている。	演奏フェードアウト設定を「切」にしてください。 デンモク側の設定を確認してください。
予約受付完了の表示がモニターに出ない。	サービスマンモードの予約受付完了表示設定が「表示しない」になっている。	予約受付完了表示設定を「表示する」にしてください。
操作が全くできない。		リセットスイッチを押してください。

メモ

本機をパワーオンした時に、本機の自己診断結果を表示する場合があります。

仕様

電源電圧……………AC100V、50/60Hz

消費電力……………45W

外形寸法(W×H×D)……………420(W)mm×207(H)mm×238.7(D)mm

重量……………11kg

定格出力

音声出力端子……………1Vrms

サブ出力端子(サービスマンモードにて設定)

サブ出力端子(マイクドライ以外)……………1Vrms

サブ出力端子(マイクドライ)……………150mVrms

録音出力端子……………1Vrms

映像出力端子……………1Vpp

HDMI出力端子……………HDMI1.4a規格準拠

入力感度

マイク端子・ワイヤレスマイク端子(マイクレベル)……………1mVrms

ワイヤレスマイク端子(ラインレベル)……………8mVrms

音声入力端子1、2、3……………150mVrms

映像入力端子……………1Vpp

付属品

コインボックス用ショートプラグ……………1

アース線……………1

結束バンド……………1

取扱説明書……………1

保証書……………1

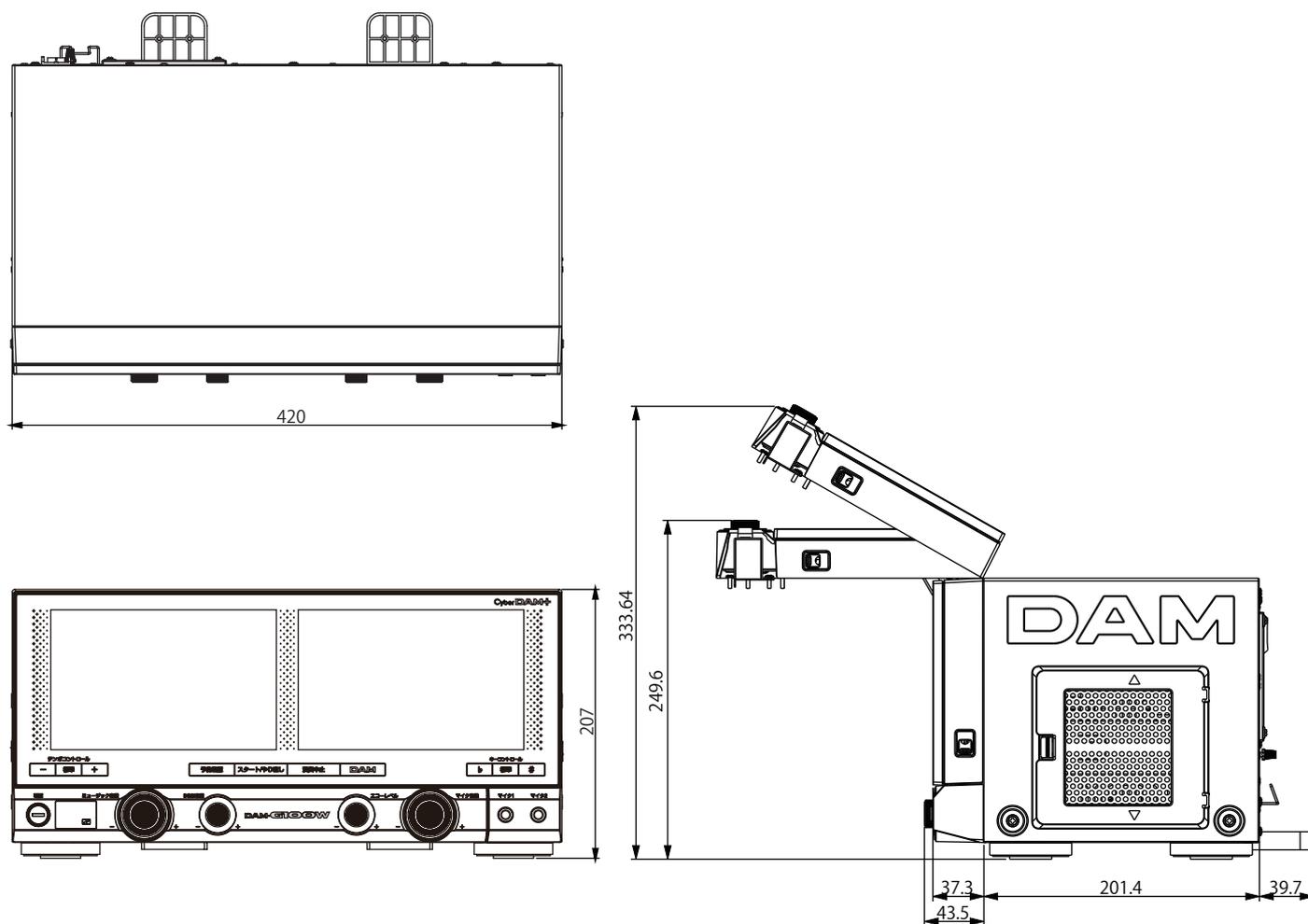
※仕様および外観は、改善改良のため、予告なく変更することがあります。

仕様

420(W)mm×207(H)mm×238.7(D)mm
※ケーブルガードを含むと278.4(D)mm
重量11kg

外形寸法図

単位:mm



※仕様及び外観は、改善改良のため、予告なく変更することがあります。

サービスについて

本機のサービスのご依頼、お問い合わせは、取扱店にご連絡ください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。保証書が提示された場合のみ無償修理規定に基づいて無償で修理が受けられる期間です。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているときは

修理によって製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

技術料:故障した製品を正常に修復するための修理工料です。

部品代:修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

送料:修理上がり品を発送する場合に別途申し受けます。

修理用性能部品の最低保有期間は

修理用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。修理用性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼になるときは、製品の故障状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の型番(MODEL)、製造番号などもあわせてお知らせください。

※型番(MODEL)、製造番号は本機リアパネルに表示してあります。(13ページ)

有寿命部品について

本機には、有寿命部品(液晶ディスプレイ、ハードディスク、冷却用ファン等)が含まれています。

有寿命部品の交換時期は、使用環境や使用時間等によって、大きく異なります。

尚、長時間連続使用等、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内であっても部品交換(有料)が必要となります。

有寿命部品の交換は、必ず取扱店へご相談ください。

※機能および仕様は、改善改良のため、予告なく変更することがあります。

※本製品には、カドミウムあるいはカドミウム含有物質を一切使用していません。

再輸送が必要になった時は

再輸送の際には、必ずDAM-G100Wの梱包箱を使用して輸送してください。

愛情点検



★長年ご使用のために本機の点検を!

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず取扱店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は取扱店にご相談ください。

☒ 第一興商

取扱店